

「WORD」から「WORLD」へ、日英言語がひらく平和の原理

■ 言葉の奥には宇宙の仕組みが・・・

私たちは毎日、当たり前のように「言葉」を使っています。「おはよう」「ありがとう」「うれしい」「楽しい」「愛している」……。一つひとつの言葉や文字の中に、私たちがまだ気づいていない宇宙や生命の仕組みが秘められているのです。

筆者は長年にわたり、日本語の五十音、文字、数字、英語、そして宇宙や生命・意識とのつながりを研究してきました。「光透波(コトハ)」の哲理です。

■ 光透波とは何でしょうか

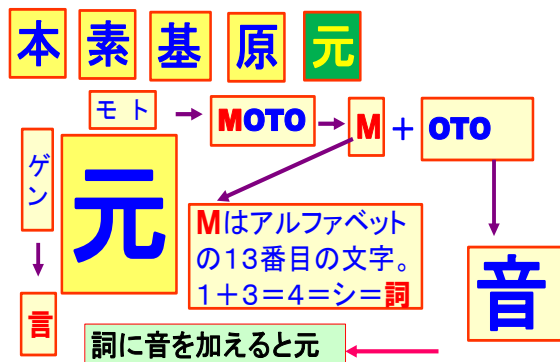
光透波では「言葉」を単なる情報伝達の道具としてだけではなく、音・文字・数・意味を通して生命や宇宙の法則を探るものとして考えます。特に大切にしているのが日本語の「五十音」です。私たちは五十音で考えたり、話したり、名前を呼んだりするときの基本となっています。

言葉が変われば考え方も変わります。考え方が変われば心も変わります。そして心が変われば、生き方も変わっていきます。

そこで光透波では、五十音を「人間の意識を形づくる基本的な音」として捉え、さらに文字の形、漢字の意味、英語のアルファベット、数字などを照らし合わせながら、言葉の奥にある規則性を探究します。

■ 「文字」は形を持ち、そこには深い意味が

長年、文字を研究する中で特に注目してきたのが、「文字は幾何学的な構造を持っている」という視点です。



宇宙は音と詞(=光透波=コトハ)が元になって成り立っています。聖書に「始めにコトハありき……すべては言葉によって成った……」

文字をよく見ると、点があります。線があります。縦と横、交差、囲み、開きなど、さまざまな形があります。

私たちは普段、文字を意味だけで読んでいます。しかし、文字を「形」として改めて観察してみると、今までとは違った世界が見えてきます。

文字を外側から読むだけではなく、その成り立ちや組み合わせを分けて考え、そこから意味を読み解いていく方法を、「字割り(じわり)思考」と呼んでいます。

文字を割って考える。音から考える。形から考える。意味から考えると、抽象の世界が開かれる。さらに数字や英語とも照らし合わせてみる。すると一つの文字から思いがけない発見が生まれることがあります。

■ 日本語の「神秘」と英語の「数の法則」

光透波では、日本語だけを研究するものではありません。日本語と英語を組み合わせることも、大きな特徴です。

日本語には、漢字・ひらがな・音・訓など、多様な表現があります。一方、英語のアルファベットは A から Z で順番を持っているため、文字と数字を対応させて考えることができます。

つまり、・日本語の五十音 ・漢字の形と意味 ・英語のアルファベット ・数字との対応
・音の響き ・文字の組み合わせ、などをさまざまな角度から見つめ直すのです。一つの方法だけから答えを決めるではありません。いろいろな角度から言葉を眺めることによって、「こんな見方もできるのか！」という驚き

『50音図表』の「ア」行と「カ」行



縦、横、斜めに漢字を当てはめると、以下の文字に置き換えられます。

- 縦・・・アイ(合・愛) I(私)
・・・カギ(鍵)

解釈の一例・・・私を開く合鍵、私を開く愛の鍵

- 横・・・キイ(KEY) = 鍵
 - 斜め・・・カイ(解・開・改)
- 解釈の一例・・・私を解し、私を開き、私を改める

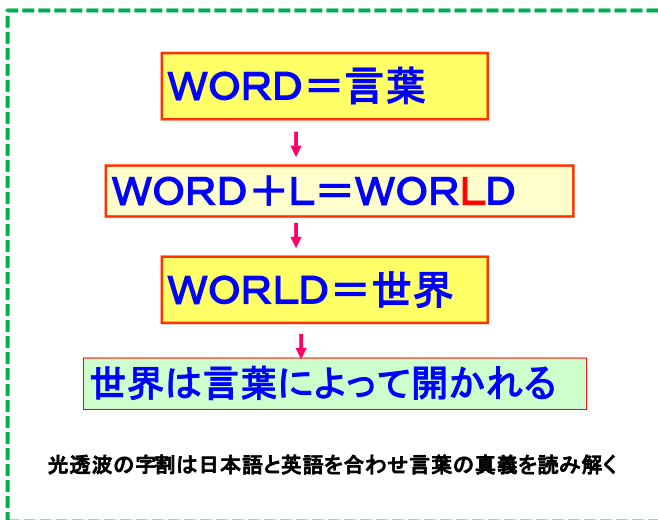
50音図表の音の配列には、宇宙の真理が数々組み込まれています。詳細は光透波セミナーで・・・。

が生まれます。その驚きが、新しい発想や生きる喜びにつながっていくのです。

■ 言葉の深義から命の想いを探究

私たちは普段、言葉を「考えるための道具」「伝えるための道具」として使っています。

しかし光透波では、言葉をそれだけのものとは考えません。言葉の奥には音があり、音の奥には意識があり、そのさらに奥には、生命そのものの働きがあると考えます。



そこで生まれるのが、「命想」という瞑想です。命想とは、文字通り、命の想いです。一般的な瞑想が、思考を静めたり、心を観察したりする方法だとすれば、命想はさらにその奥へ進みます。

顕在意識で考えることを超えて、潜在意識の奥にある、宇宙意識・生命意識・心空とも呼べる根源的な意識へと近づいていく。そこから自然に湧き出てくる想いを受け取る。それが、光透波における宇宙瞑想「命想」です。

■ その鍵は「WORD」

ここで面白いのが、英語の WORD という言葉です。

「WORD」は「言葉」。そして「WORLD」は「世界」。わずか一文字、「L」が加わることで、「WORD が WORLD」へ展開します。光透波では、この関係を象徴的に、「言葉が世界をひらく」と読み解きます。

言葉は単なる音や記号ではありません。人が言葉を発すれば、意識が動きます。意識が動けば、人間関係が変わります。人間関係が変われば、社会も変わります。

つまり、WORD が WORLD をつくる。言葉が世界をつくり、世界が言葉によって変わっていく。この仕組みを見ることが、命想の大切な入口になります。

■ 日本語と英語は二つの鏡

光透波では、日本語と英語を対立する言語としてではなく、互いを照らし合う二つの鏡として考えます。

日本語は本来は縦書きで表現される言葉で、漢字・ひらがな・カタカナ、音読み・訓読みというように多面的に表現する仕組みを持ち、その奥には精神性が脈打つ特徴があります。そこから日本語は精神を深く観る縦軸の言語として捉えます。

一方、英語は横書きで表現されます。アルファベットは横に展開し、物質世界や現象世界を明確に表現できる特長を有しています。そこから英語は現実世界を広げる横軸の言語として捉えます。

日本語が縦。英語が横。この縦横二つが交わる場所に、「今ここ」という一点が生まれます。

「今ここ」は宇宙の真実点。私たちは、どこにいても「ここ」にいます。そして、いつ生きていても「今」にいます。したがって、「今ここ」は誰にとっても共通する普遍的な一点です。

■ 大宇宙と人間は一つつながり

光透波では、この「今ここ」を、時間と空間の交点として考えます。そして、この一点は小さな点でありながら、宇宙全体につながる入口でもあります。

ここから、大天＝小点という考え方が生まれます。大天とは大宇宙。小点とは今ここに存在する人間。

さらに、大＝小と考えます。極大の宇宙と極小の一点は、本質においてつながっている。この「大＝小」が、宇宙の真実点であり、人間存在の真実点なのです。

大宇宙と人間は一つつながり、宇宙は人間の外側だけにあるものではありません。人間の身体も、心も、生命も、宇宙の中で生まれています。呼吸も、光も、水も、音も、すべて宇宙との関係の中で存在しています。そこで光透波では、宇宙生命エネルギーは一つつながり、と考えます。つまり、ワンネスです。私とあなた。人間と自然。心と身体。日本と世界。東洋と西洋。一見すると分かれているように見えますが、その根底では、一つ

の生命につながっている。この自覚こそ、命想の中心になります。

■ 平和の原理は「同じ命」

人種と人種。宗教と宗教。思想と思想。言語と言語。違いだけを見れば、対立が生まれます。しかし命の根源まで降りていけば、みんな同じ一つの生命につながっている、と見ることができます。

誰もが、最高の命を授けられている。ここに上下はありません。命そのものに優劣はありません。だからこそ、相手の命を尊ぶことは、自分の命を尊ぶこと。自分の命を大切にすることは、全体の命を大切にすること。この認識が、平和の原理になります。

■ 命瞑想思考法

命想では、考えることを否定しません。むしろ、どこから考えるかを大切にします。頭だけで考えるのではなく、心を静め、命を感じ、今ここに帰り、そこから言葉を観る。文字を観る。音を観る。自分を観る。そして世界を観る。この流れを、「命瞑想思考法」と呼ぶことができます。

それは、顕在意識から潜在意識へ。

潜在意識から生命意識へ。

生命意識から宇宙意識へ。

と深まっていく思考法です。

■ 宇宙瞑想「命想」のキーワード

命想を簡単にまとめると、

・WORD＝言葉 ・WORLD＝世界 ・今ここ＝真実点

・大天＝小点 ・大＝小 ・心空＝宇宙意識

・命＝一つながり ・日英言語＝東西融合 ・ワンネス＝平和の原理、となります。

そして最終的には、「みんな一つの最高の命を授けられている」ところへ戻ってきます。命は競い合うためにあるわけではありません。比べるためでもありません。分けるためでもありません。

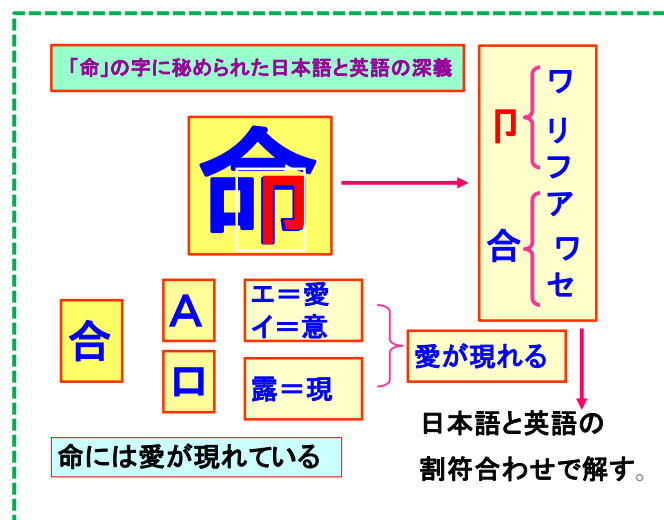
命は、つながるためにある。その一つながりを思い出すこと。それが宇宙瞑想「命想」です。

言葉から命へ。命から宇宙へ。宇宙から再び自分へ。そして自分から世界へ。

WORD から WORLD へ。一人ひとりが「今ここ」の命に目覚めるとき、そこから平和の世界が始まるのです。

文責 磯部賢一

※「命想」「心空」「大天＝小点」「大＝小」「日英言語による次元解釈」などは、一般的な物理学・言語学・心理学とは異なる、光透波における独自の定義・解釈です。



9 月 光透波セミナーのご案内

● 光の言波・命波道塾 (第181回 光透波セミナー)

● 日 時 9月24日(木) PM 1:30～PM4:45

● 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B(4F) 東京都港区浜松町1-6-7

● 演 題 「夜の時代の光りと昼の時代の光り」 J R 浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 各4分

● 講 師 宿 谷 直 晃 ● 参 加 費 3,000円(事前支払者は、2,000円)

● 名古屋 命波動学講座

● 日 時 9月2日(水) PM 1:00～PM 4:00 詞語會6 基礎講座第5回

● 日 時 9月3日(木) PM 1:00～PM 4:00 詞語會2 基礎講座第31回

- 日 時 9月 4日(金) PM 1:30～PM 4:30 詞語會 4 基礎講座第11回
- 日 時 9月 7日(月) PM 1:00～PM 4:00 詞語會 1 基礎講座第33回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀 尾 君 子 ●参 加 費 各3,000円

※ 命波動学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋光透波講座

- 日 時 9月 8日(火) AM 10:00～PM 0:30
- 演 題 「光透波と瞑想思考」
- 場 所 ペポ 名古屋市昭和区山手通り415 コメダビル 会議室
- 講 師 磯 部 賢 一 ●参 加 費 3,500円

●熱田神宮参拝と光透波お話し会

- 日 時 9月27日(日) AM 10:00～PM 0:00
- 場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前) ●演 題 「五十音意識と神の関係」
- 講 師 磯 部 賢 一 ●参 加 費 3,000円

●第5回 光の言波とシンギングボウル (音霊)「言霊」癒しの集い

- 日 時 9月13日(日) PM 1:30～PM4:30
- 場 所 吉内千枝子宅 横浜市神奈川区西寺尾4-31-29
- JR 鶴見駅西口 横浜市営バス 41 系統, 新横浜駅行き 白幡バス停 下車徒歩 4 分
- 新横浜駅西口 横浜市営バス 41 系統, 鶴見駅行き 白幡バス停 下車徒歩 4 分
- 講演者・演奏者 宿谷直晃 ・ KOTOHA
- 参 加 費 3000円 ※ 以上 申し込み先 090-2447-2037 (宿谷まで)



光透波紹介の書籍の一部のご案内、購読希望者はアマゾン、又は下記の宿谷まで。

ホームページ

光透波の会

- | | | |
|-------------|--|---------------|
| 實光透波動研究会 | 名古屋市名東区香南1-103-8-201 | 堀 尾 君 子 |
| メールアドレス | s8910kimiko@yahoo.co.jp | 090-8499-5989 |
| 光透波塾 | 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 | 磯 部 賢 一 |
| メールアドレス | isobeg@gmail.com | 090-9199-0248 |
| 光の言波, 命波道塾 | 東京都品川区小山6-19-5 | 宿 谷 直 晃 |
| メールアドレス | syu98-8do8@mbr.nifty.com | 090-2447-2037 |
| 光透波, 言霊セミナー | 兵庫県播磨町西野添2-5-12 | 林 和 也 |
| | | 090-8580-3776 |

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>